目次

メニュー

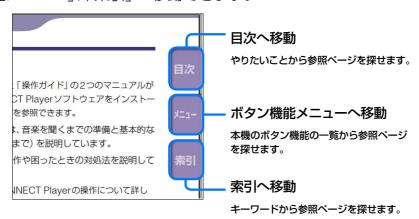
索引

SONY

操作ガイド

NW-A605 / A607 / A608

2-661-269-**04** (1)

マニュアルについて

本機には、「クイックスタートガイド」と「操作ガイド」の2つのマニュアルが付属しています。また、付属のCONNECT Playerソフトウェアをインストールすれば、CONNECT Playerのヘルプを参照できます。

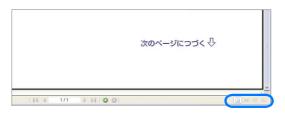
– 別紙の「クイックスタートガイド」は、音楽を聞くまでの準備と基本的な操作（曲の取り込みから、転送、再生まで）を説明しています。

– この「操作ガイド」は、本機の応用操作や困ったときの対処法を説明しています。

– CONNECT Playerのヘルプは、CONNECT Playerの操作について詳しく説明しています（☞3ページ）。

操作ガイドの見かた

操作ガイドのボタンを使う

右上にあるボタンから、希望のボタンをクリックすれば、「目次」や「ボタン機能メニュー」、「索引」へ移動できます。

ヒント

- 「目次」や「ボタン機能メニュー」、「索引」で、各項目またはページ番号をクリックすれば、該当ページへ移動できます。
- 各ページにある参照ページ表示（☞2ページ）などをクリックすれば、該当ページへ移動できます。
- Adobe Readerの「編集」から「検索」を選択し、表示された検索画面にキーワードを入力すれば、キーワードから参照ページを検索できます。
- ページ移動後は、Adobe Readerの画面下にある、 や ボタンをクリックすれば、移動する前のページや次のページへ移動できます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ページの表示方法を変えるには

Adobe Readerの画面下にあるボタンを使えば、見やすい表示に変えられます。

単一ページ

1ページずつ表示します。
ページをスクロールすると、1ページずつ表示が切り換わります。

連続ページ

ページを続けて表示します。
ページをスクロールすると、前後のページが続いて表示されます。

連続見開きページ

2ページずつ見開き表示します。
ページをスクロールすると、前後のページが続いて表示されます。

単一見開きページ

2ページずつ見開き表示します。
ページをスクロールすると、2ページずつ表示が切り換わります。

CONNECT Playerのヘルプについて

音楽をパソコンへ取り込む方法や本機へ転送する方法など、CONNECT Playerを使う操作について詳しくは、CONNECT Playerのヘルプをご覧ください。

1. **CONNECT Playerを起動した状態で、「ヘルプ」から「CONNECT Playerヘルプ」をクリックする。**
   ヘルプが表示されます。

ご注意

- ヘルプでは、本機を「機器」として説明しています。

目次

次のページにつづく ⇩

役に立つヒント

困ったときは

その他

目次
メニュー
索引

ボタン機能メニュー

本機のDISP/FUNCボタン、SEARCH/MENUボタン、REPEAT/SOUNDボタンからは、それぞれ以下の機能を実行できます。

本体表面

本体裏面

DISP/FUNCボタン

短く押したとき

長く押し続けたとき

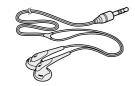
以下のメニュー（機能選択メニュー）が表示されます。

SEARCH/MENUボタン

短く押したとき

長く押し続けたとき

以下のメニュー（設定メニュー）が表示されます。（使用している機能や、本機の状態（再生/停止）によって、設定メニューの表示項目は異なります。）

REPEAT/SOUNDボタン

短く押したとき

長く押し続けたとき

付属品を確かめる

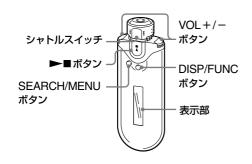
箱から出したら、付属品がそろっているか確認してください。

□ ヘッドホン*（1）

□ USB接続ケーブル（1）

□ ヘッドホン延長コード*（1）

□ クリップ（1）

本機を携帯するときに、衣服などに装着するために使います。

□ キャリングポーチ（1）

□ CD-ROM**（1）
- CONNECT Playerソフトウェア
- 操作ガイド（PDF）

□ クイックスタートガイド（1）

□ 保証書（1）

□ ソニーご相談窓口のご案内（1）

□ カスタマー登録のお願い（1）

* ソニースタイルオリジナルモデルには、下記は付属しません。
– ヘッドホン
– ヘッドホン延長コード

** 音楽CDプレーヤーでは再生しないでください。

シリアルナンバーについて

カスタマー登録の際に、本機のシリアルナンバーの入力が必要となります。シリアルナンバーは、本体裏面のラベルに印刷されています。ラベルをはがさないようにしてください。

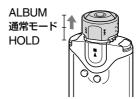
目次
メニュー
索引

基本的な操作 - 各部の名前

本体表面

シャトルスイッチ

左右に回して、曲やメニュー項目を選びます。
また、以下の操作で曲の頭出しや早送り／早戻しを行えます。

- **シャトルスイッチを ►►I（I◄◄）へ短く回す**
  次の曲（再生中の曲）を頭出しします。
- **シャトルスイッチを ►►I（I◄◄）へ回し、止めたい場所で手をはなす**
  再生中の曲を早送り（早戻し）します。早送り／早戻しを開始すると、時間の経過とともに徐々に速度が速くなります。
- **停止中に、シャトルスイッチを ►►I（I◄◄）へ回したままの状態にする**
  次の曲（再生中の曲）、さらに次の曲（前の曲）を連続して頭出しします。

アルバム操作モード

シャトルスイッチをALBUMの位置にするとアルバム操作モードに入れます。

アルバム操作モードでは、以下のように、再生範囲の曲をアルバム単位で頭出しすることができます。

- **シャトルスイッチを ►►I（I◄◄）へ短く回す**
  次のアルバム（再生中のアルバム）の最初の曲を頭出しします。
- **停止中に、シャトルスイッチを ►►I（I◄◄）へ回したままの状態にする**
  再生範囲内の次のアルバム（現在のアルバム）、さらに次のアルバム（前のアルバム）を連続して頭出しします。

次のページにつづく ⇩

HOLD機能

カバンに入れて使うときなどに、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぎます。

シャトルスイッチをHOLDの位置まで押し込むと、操作ボタンが働かなくなります。ホールド中に他のボタンを押すと、「HOLD」と表示されます。

ホールドを解除するには

- シャトルスイッチを中央の位置（通常モード）まで引きます。

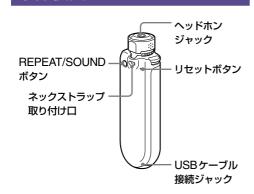
►■（再生／停止）ボタン

表示窓の左下に► が表示され、再生が始まります。
もう1度押すと、再生が停止します。
表示窓にメニュー項目が表示されているときは、その項目を決定します。

SEARCH/MENU（サーチ/メニュー）ボタン

Music Libraryで曲を再生中／停止中は、サーチの方法を選ぶメニュー（サーチメニュー）が表示されます。
Intelligent Shuffleで曲を再生中／停止中は、シャッフルの方法を選ぶメニュー（インテリジェントシャッフルモード選択メニュー）が表示されます。
押し続けると、設定メニューが表示されます。

VOL（ボリューム）＋/－ボタン

音量を調節します。

DISP/FUNC（ディスプレイ/ファンクション）ボタン

表示画面が切り換わります。
押し続けると、機能選択メニュー（Intelligent Shuffle/Music Library/FM（FM Tuner））が表示されます。

表示部

表示部の表示窓、アイコンの名前は、☞11ページをご覧ください。

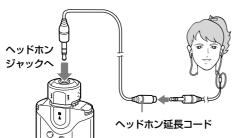
次のページにつづく ⇩

本体裏面

REPEAT/SOUNDボタン

トラックリピートモードの種類が切り換わります。
押し続けると、音質設定が変わります。

ネックストラップ取り付け口

ネックストラップを取り付けます。

ヘッドホンジャック

ヘッドホンを接続します。

ヘッドホン延長コードをご使用の場合

「カチッ」と音がするまで差し込みます。
ヘッドホンやヘッドホン延長コードが正しく接続されていないと、再生音が正常に聞こえません。

リセットボタン

本機をリセットします。詳しくは、☞74ページをご覧ください。

USBケーブル接続ジャック

付属のUSB接続ケーブルの、小さいほうのコネクタを接続します。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

目次
メニュー
索引

表示部

文字情報／グラフィック表示窓

アルバム名、アーティスト名、曲名などの表示や、時計表示、エラー表示、メニュー画面などが表示されます。画面の表示内容は、DISP/FUNCボタンを押して切り換えられます。また、一定時間操作がないときに、省電力画面に切り換わるように設定することもできます。

現在の曲番号／再生範囲の総曲数

再生または選択している曲の曲番号と、現在の再生範囲の総曲数が表示されます。

再生状態表示

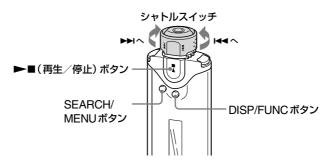
現在の再生状態（►：再生中、■：停止中）と経過時間が表示されます。

リピートモード表示

リピートモードが選ばれている場合、リピートモードのアイコンが表示されます。

デジタルサウンドプリセット表示

デジタルサウンドプリセットが設定されている場合、デジタルサウンドプリセットのアイコンが表示されます。

電池残量表示

電池残量が表示されます。

ヒント

- FMチューナーの表示については、「FMチューナー」（☞58ページ）をご覧ください。

目次
メニュー
索引

聞きたい曲を探す（Music Library）

「すべての曲」、「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」などから聞きたい曲を探せます。

すべての曲から探す（All Song）

1 機能選択メニューが表示されるまでDISP/FUNCボタンを押し続ける。

2 シャトルスイッチを回して「Music Library」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定したあと、SEARCH/MENUボタンを押す。
サーチメニューが表示されます。

3 シャトルスイッチを回して「All Song」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。
すべての曲がアルバム名順に表示されます。このとき表示されている曲一覧が「再生範囲」となります。

4 シャトルスイッチを回して、再生を開始したい曲を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。
選んだ曲から再生が始まります。リピートモード（☞28ページ）が設定されていない場合は、再生範囲の最後の曲まで再生されたあと再生が停止します。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ヒント

- Music Libraryで曲を再生中／停止中にSEARCH/MENUボタンを押すと、サーチメニュー（All Song/Artist/Album/Genre/Release Year/Favorite 100/Playlist/RecentTransfer）が表示されます。
- Music Libraryで曲を再生中／停止中にDISP/FUNCボタンを押し続けると、再生が停止して、機能選択メニュー（Intelligent Shuffle/Music Library/FM（FM Tuner））が表示されます。

次のページにつづく

目次
メニュー
索引

アーティストから探す（Artist）

❶ **機能選択メニューが表示されるまでDISP/FUNCボタンを押し続ける。**

❷ **シャトルスイッチを回して「Music Library」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定したあと、SEARCH/MENUボタンを押す。**
サーチメニューが表示されます。

❸ **シャトルスイッチを回して「Artist」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
アーティスト一覧が表示されます。

❹ **シャトルスイッチを回して聞きたいアーティストを選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
選んだアーティストのアルバム一覧が表示されます。

ヒント
- アーティスト一覧のいちばん上にある「All Artist」を選んで►■（再生／停止）ボタンを押すと、すべての曲がアーティスト名順（同一アーティストの曲は、アルバム名順）に並べ替えられて表示されます（このとき表示されている曲一覧が「再生範囲」となります）。続けて手順❻の操作を行い、曲の再生を開始してください。

❺ **シャトルスイッチを回して聞きたいアルバムを選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
選んだアーティストのアルバムの曲一覧が表示されます。このとき表示されている一覧が「再生範囲」となります。

ヒント
- アルバム一覧のいちばん上にある「All Album」を選んで►■（再生／停止）ボタンを押すと、手順❹で選んだアーティストのすべての曲が、アルバム名順に並べ替えられて表示されます（このとき表示されている曲一覧が「再生範囲」となります）。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

❻ シャトルスイッチを回して、再生を開始したい曲を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

選んだ曲から再生が始まります。リピートモード（☞28ページ）が設定されていない場合は、再生範囲の最後の曲まで再生されたあと再生が停止します。

ヒント

- Music Libraryで曲を再生中／停止中にSEARCH/MENUボタンを押すと、サーチメニュー（All Song/Artist/Album/Genre/Release Year/Favorite 100/Playlist/RecentTransfer）が表示されます。
- Music Libraryで曲を再生中／停止中にDISP/FUNCボタンを押し続けると、再生が停止して、機能選択メニュー（Intelligent Shuffle/Music Library/FM（FM Tuner））が表示されます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

アルバムから探す（Album）

❶ **機能選択メニューが表示されるまでDISP/FUNCボタンを押し続ける。**

❷ **シャトルスイッチを回して「Music Library」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定したあと、SEARCH/MENUボタンを押す。**
サーチメニューが表示されます。

❸ **シャトルスイッチを回して「Album」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
アルバム一覧が表示されます。

❹ **シャトルスイッチを回して聞きたいアルバムを選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
選んだアルバムの曲一覧が表示されます。このとき表示されている曲一覧が「再生範囲」となります。

ヒント
- アルバム一覧のいちばん上にある「All Album」を選んで►■（再生／停止）ボタンを押すと、すべての曲が、アルバム名順に並べ替えられて表示されます（このとき表示されている曲一覧が「再生範囲」となります）。

❺ **シャトルスイッチを回して、再生を開始したい曲を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
選んだ曲から再生が始まります。リピートモード（☞28ページ）が設定されていない場合は、再生範囲の最後の曲まで再生されたあと再生が停止します。

ヒント
- Music Libraryで曲を再生中／停止中にSEARCH/MENUボタンを押すと、サーチメニュー（All Song/Artist/Album/Genre/Release Year/Favorite 100/Playlist/RecentTransfer）が表示されます。
- Music Libraryで曲を再生中／停止中にDISP/FUNCボタンを押し続けると、再生が停止して、機能選択メニュー（Intelligent Shuffle/Music Library/FM（FM Tuner））が表示されます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ジャンルから探す（Genre）

❶ 機能選択メニューが表示されるまでDISP/FUNCボタンを押し続ける。

❷ シャトルスイッチを回して「Music Library」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定したあと、SEARCH/MENUボタンを押す。

サーチメニューが表示されます。

❸ シャトルスイッチを回して「Genre」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

ジャンルの一覧が表示されます。

❹ シャトルスイッチを回して聞きたいジャンルを選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

選んだジャンルのアルバム一覧が表示されます。

ヒント

- ジャンル一覧のいちばん上にある「All Genre」を選んで►■（再生／停止）ボタンを押すと、すべての曲がジャンル名順に並べ替えられて表示されます（このとき表示されている曲一覧が「再生範囲」となります）。続けて手順❻の操作を行い、曲の再生を開始してください。

❺ シャトルスイッチを回して聞きたいアルバムを選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

選んだアルバムの曲一覧が表示されます。このとき表示されている一覧が「再生範囲」となります。

ヒント

- アルバム一覧のいちばん上にある「All Album」を選んで►■（再生／停止）ボタンを押すと、手順❹で選んだジャンルのすべての曲が、アルバム名順に並べ替えられて表示されます（このとき表示されている曲一覧が「再生範囲」となります）。

次のページにつづく ⇩

❻ シャトルスイッチを回して、再生を開始したい曲を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

選んだ曲から再生が始まります。リピートモード（☞28ページ）が設定されていない場合は、再生範囲の最後の曲まで再生されたあと再生が停止します。

ヒント

- Music Libraryで曲を再生中／停止中にSEARCH/MENUボタンを押すと、サーチメニュー（All Song/Artist/Album/Genre/Release Year/Favorite 100/Playlist/RecentTransfer）が表示されます。
- Music Libraryで曲を再生中／停止中にDISP/FUNCボタンを押し続けると、再生が停止して、機能選択メニュー（Intelligent Shuffle/Music Library/FM（FM Tuner））が表示されます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

曲の発売年から探す（Release Year）

1 機能選択メニューが表示されるまでDISP/FUNCボタンを押し続ける。

2 シャトルスイッチを回して「Music Library」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定したあと、SEARCH/MENUボタンを押す。

サーチメニューが表示されます。

3 シャトルスイッチを回して「Release Year」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

曲の発売年の一覧が表示されます。

4 シャトルスイッチを回して聞きたい発売年を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

選んだ発売年の曲一覧が表示されます。このとき表示されている一覧が「再生範囲」となります。

ヒント

- 発売年の一覧のいちばん上にある「All Release Year」を選んで►■（再生／停止）ボタンを押すと、すべての曲が発売年順に並べ替えられて表示されます（このとき表示されている曲一覧が「再生範囲」となります）。

5 シャトルスイッチを回して、再生を開始したい曲を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

選んだ曲から再生が始まります。リピートモード（☞28ページ）が設定されていない場合は、再生範囲の最後の曲まで再生されたあと再生が停止します。

ヒント

- Music Libraryで曲を再生中／停止中にSEARCH/MENUボタンを押すと、サーチメニュー（All Song/Artist/Album/Genre/Release Year/Favorite 100/Playlist/RecentTransfer）が表示されます。
- Music Libraryで曲を再生中／停止中にDISP/FUNCボタンを押し続けると、再生が停止して、機能選択メニュー（Intelligent Shuffle/Music Library/FM（FM Tuner））が表示されます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

よく聞く100曲から探す（Favorite 100）

再生回数の多い100曲から、曲を検索できます。

1. **機能選択メニューが表示されるまでDISP/FUNCボタンを押し続ける。**

2. **シャトルスイッチを回して「Music Library」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定したあと、SEARCH/MENUボタンを押す。**
サーチメニューが表示されます。

3. **シャトルスイッチを回して「Favorite 100」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
再生回数の多い100曲が一覧で表示されます。

4. **シャトルスイッチを回して、再生を開始したい曲を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
選んだ曲から再生が始まります。リピートモード（☞28ページ）が設定されていない場合は、再生範囲の最後の曲まで再生されたあと再生が停止します。

ヒント

- Music Libraryで曲を再生中／停止中にSEARCH/MENUボタンを押すと、サーチメニュー（All Song/Artist/Album/Genre/Release Year/Favorite 100/Playlist/RecentTransfer）が表示されます。
- Music Libraryで曲を再生中／停止中にDISP/FUNCボタンを押し続けると、再生が停止して、機能選択メニュー（Intelligent Shuffle/Music Library/FM（FM Tuner））が表示されます。
- よく聞く100曲は、CONNECT Player接続時に、それまでの再生回数をもとに更新されます。

次のページにつづく ⇩

プレイリストから探す（Playlist）

CONNECT Playerで作成したプレイリストを再生できます。

1 機能選択メニューが表示されるまでDISP/FUNCボタンを押し続ける。

2 シャトルスイッチを回して「Music Library」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定したあと、SEARCH/MENUボタンを押す。

サーチメニューが表示されます。

3 シャトルスイッチを回して「Playlist」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

プレイリストの一覧が表示されます。

プレイリストの種類について詳しくは、CONNECT Playerのヘルプをご覧ください。

ご注意

- CONNECT Player から本機に、プレイリストが1つも転送されていない場合は、「NO ITEM」が表示されます。

4 シャトルスイッチを回してプレイリストを選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

選んだプレイリストの曲一覧が表示されます。このとき表示されている一覧が「再生範囲」となります。

5 シャトルスイッチを回して、再生を開始したい曲を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

選んだ曲から再生が始まります。リピートモード（☞28ページ）が設定されていない場合は、再生範囲の最後の曲まで再生されたあと再生が停止します。

ヒント

- Music Libraryで曲を再生中／停止中にSEARCH/MENUボタンを押すと、サーチメニュー（All Song/Artist/Album/Genre/Release Year/Favorite 100/Playlist/RecentTransfer）が表示されます。
- Music Libraryで曲を再生中／停止中にDISP/FUNCボタンを押し続けると、再生が停止して、機能選択メニュー（Intelligent Shuffle/Music Library/FM（FM Tuner））が表示されます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

新しく転送したアルバムから探す（Recent Transfer）

1. **機能選択メニューが表示されるまでDISP/FUNCボタンを押し続ける。**

2. **シャトルスイッチを回して「Music Library」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定したあと、SEARCH/MENUボタンを押す。**
サーチメニューが表示されます。

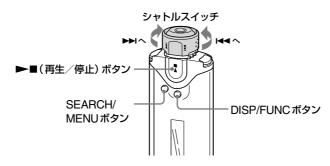
3. **シャトルスイッチを回して「RecentTransfer」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
新しく転送したアルバムの一覧が表示されます。

4. **シャトルスイッチを回して聞きたいアルバムを選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
選んだアルバムの曲一覧が表示されます。このとき表示されている曲一覧が「再生範囲」となります。

ヒント
- アルバム一覧のいちばん上にある「All Recent Transfer」を選んで►■（再生／停止）ボタンを押すと、すべての曲が、アルバムの転送順に並べ替えられて表示されます（このとき表示されている曲一覧が「再生範囲」となります）。

5. **シャトルスイッチを回して、再生を開始したい曲を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
選んだ曲から再生が始まります。リピートモード（☞28ページ）が設定されていない場合は、再生範囲の最後の曲まで再生されたあと再生が停止します。

ヒント
- Music Libraryで曲を再生中／停止中にSEARCH/MENUボタンを押すと、サーチメニュー（All Song/Artist/Album/Genre/Release Year/Favorite 100/Playlist/RecentTransfer）が表示されます。
- Music Libraryで曲を再生中／停止中にDISP/FUNCボタンを押し続けると、再生が停止して、機能選択メニュー（Intelligent Shuffle/Music Library/FM（FM Tuner））が表示されます。

目次
メニュー
索引

シャッフル再生する（Intelligent Shuffle）

4通りのシャッフルモードから選び、曲を順不同に繰り返し再生（シャッフル再生）できます（インテリジェントシャッフル）。

よく聞く100曲をシャッフル再生する（My Favorite Shuffle）

再生回数の多い100曲を順不同で繰り返し再生します。

1. **機能選択メニューが表示されるまでDISP/FUNCボタンを押し続ける。**

2. **シャトルスイッチを回して「Intelligent Shuffle」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
   インテリジェントシャッフルモード選択メニューが表示されます。

3. **シャトルスイッチを回して「My Favorite Shuffle」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
   よく聞く100曲がシャッフルされ、繰り返し再生が始まります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ヒント

- シャトルスイッチをALBUMの位置まで引いて回すと、再生回数の多い100曲が再びシャッフルされます。
- Intelligent Shuffleで曲を再生中／停止中にSEARCH/MENUボタンを押すと、インテリジェントシャッフルモード選択メニュー（My Favorite Shuffle/Artist Link Shuffle/Time Machine Shuffle/Sports Shuffle）が表示されます。
- Intelligent Shuffleで曲を再生中／停止中にDISP/FUNCボタンを押し続けると、再生が停止して、機能選択メニュー（Intelligent Shuffle/Music Library/FM（FM Tuner））が表示されます。
- よく聞く100曲は、CONNECT Player接続時に、それまでの再生回数をもとに更新されます。
- 本機に転送された曲数が100曲未満のときは、転送された曲数でシャッフル再生されます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

無作為に選ばれたアーティストと近いジャンルの曲をシャッフル再生する（Artist Link Shuffle）

無作為に選ばれたアーティストと近いジャンルの曲を検索し（アーティストリンク）、検索した曲を順不同で繰り返し再生します。

1 機能選択メニューが表示されるまでDISP/FUNCボタンを押し続ける。

2 シャトルスイッチを回して「Intelligent Shuffle」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

インテリジェントシャッフルモード選択メニューが表示されます。

3 シャトルスイッチを回して「Artist Link Shuffle」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

アーティストが無作為に選ばれて、そのアーティストと近いジャンルの曲がシャッフルされ、繰り返し再生が始まります。

ヒント

- シャトルスイッチをALBUMの位置まで引いて回すと、アーティストが無作為に選び直され、そのアーティストと近いジャンルの曲が再びシャッフルされます。
- Intelligent Shuffleで曲を再生中／停止中にSEARCH/MENUボタンを押すと、インテリジェントシャッフルモード選択メニュー（My Favorite Shuffle/Artist Link Shuffle/Time Machine Shuffle/Sports Shuffle）が表示されます。
- Intelligent Shuffleで曲を再生中／停止中にDISP/FUNCボタンを押し続けると、再生が停止して、機能選択メニュー（Intelligent Shuffle/Music Library/FM（FM Tuner））が表示されます。

次のページにつづく ⇩

同じ発売年の曲をシャッフル再生する（Time Machine Shuffle）

発売年が無作為に選ばれ、その年に発売されたすべての曲を順不同で繰り返し再生します。

1. **機能選択メニューが表示されるまでDISP/FUNCボタンを押し続ける。**

2. **シャトルスイッチを回して「Intelligent Shuffle」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
   インテリジェントシャッフルモード選択メニューが表示されます。

3. **シャトルスイッチを回して「Time Machine Shuffle」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
   発売年が無作為に選ばれて、その年にリリースされた曲がシャッフルされ、繰り返し再生が始まります。

ヒント

- シャトルスイッチをALBUMの位置まで引いて回すと、発売年が無作為に選び直され、その年にリリースされた曲が再びシャッフルされます。
- Intelligent Shuffleで曲を再生中／停止中にSEARCH/MENUボタンを押すと、インテリジェントシャッフルモード選択メニュー（My Favorite Shuffle/Artist Link Shuffle/Time Machine Shuffle/Sports Shuffle）が表示されます。
- Intelligent Shuffleで曲を再生中／停止中にDISP/FUNCボタンを押し続けると、再生が停止して、機能選択メニュー（Intelligent Shuffle/Music Library/FM（FM Tuner））が表示されます。
- 発売年が登録されていない曲は、再生対象となりません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

時間を設定してシャッフル再生する（Sports Shuffle）

本機内のすべての曲から無作為に選ばれた曲を、設定した時間内で順不同に再生します。設定できる時間は、1分～99分間です。

1. **機能選択メニューが表示されるまでDISP/FUNCボタンを押し続ける。**

2. **シャトルスイッチを回して「Intelligent Shuffle」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
   インテリジェントシャッフルモード選択メニューが表示されます。

3. **シャトルスイッチを回して「Sports Shuffle」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
   再生時間設定画面が表示されます。

4. **シャトルスイッチを回して再生時間を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
   選んだ再生時間が表示されます。そして、すべての曲の中から曲が無作為に選ばれて、再生が始まります。
   再生中は、画面に再生経過が表示されます。

ヒント

- シャトルスイッチをALBUMの位置まで引いて回すと、すべての曲の中から曲が無作為に選び直され、再生が始まります。
- Intelligent Shuffleで曲を再生中／停止中にSEARCH/MENUボタンを押すと、インテリジェントシャッフルモード選択メニュー（My Favorite Shuffle/Artist Link Shuffle/Time Machine Shuffle/Sports Shuffle）が表示されます。
- Intelligent Shuffleで曲を再生中／停止中にDISP/FUNCボタンを押し続けると、再生が停止して、機能選択メニュー（Intelligent Shuffle/Music Library/FM（FM Tuner））が表示されます。

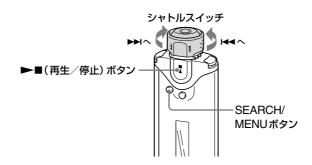
目次
メニュー
索引

リピートモードを変える

トラックリピート、A-Bリピート、センテンスリピートの3通りのリピートモードがあります。

- **トラックリピート**（Track Rep）

曲を下記の3通りのリピートモードで再生できます。

トラックリピートモード	動作
リピート	現在の再生範囲内のすべての曲が繰り返して再生されます。
1曲リピート	1曲が繰り返して再生されます。
シャッフルリピート	現在の再生範囲内のすべての曲が、順不同に繰り返し再生されます。

- A-B **リピート**（A-B Rep）

曲の一部を繰り返して再生します。

- **センテンスリピート**（Sentence Rep）

トラックの指定ポイントのボイスデータ（センテンス）を繰り返して再生します。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

リピートモードを選択する（Repeat Mode）

ご注意

- この操作は、Music Libraryを使用中で、かつ再生停止中にのみ実行できます。

❶ 再生停止中に、設定メニューが表示されるまでSEARCH/MENUボタンを押し続ける。

❷ シャトルスイッチを回して「Repeat Mode>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

❸ シャトルスイッチを回してお好みのリピートモードを選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

リピートモードは、「Track Rep」、「A-B Rep」、「Sentence Rep」の中から選ぶことができます。

「Track Rep」または「A-B Rep」を選んだ場合は、続けて手順❺の操作を行ってください。

「Sentence Rep」を選んだ場合は、「Repeat Count」の値に[　]が付いて表示されます。続けて手順❹以降の操作を行ってください。

❹ （手順❸で「Sentence Rep」を選んだ場合のみ）シャトルスイッチを回してお好みのリピート回数を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

リピート回数は、1～9回の間で設定できます。初期設定では、2回に設定されています。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

❺ **SEARCH/MENUボタンを繰り返し押して、メニューモードを終了させる。**

各リピートモードの操作については下記をご覧ください。

- Track Rep:「曲を繰り返し再生する（Track Repeat）」（☞31ページ）
- A-B Rep:「曲の一部を繰り返し再生する（A-B Repeat）」（☞32ページ）
- Sentence Rep:「トラックの指定ポイントのセンテンスを繰り返し再生する（Sentence Repeat）」（☞34ページ）

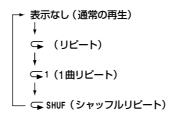
メニュー操作をやめるには

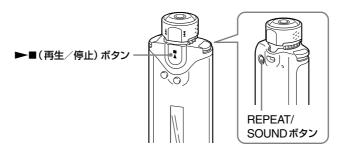
SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

ご注意

- 60秒以上ボタン操作をしないと、通常の再生画面に戻ります。
- 曲が1曲も入っていない場合は、リピートモードの設定はできません。
- 本機をパソコンに接続すると、設定したリピートモードはキャンセルされます。
- 再生範囲を変更すると、設定したリピートモードはキャンセルされます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

曲を繰り返し再生する（Track Repeat）

REPEAT/SOUNDボタンを押すとトラックリピートモードの種類が切り換わります。表示窓に現在選択しているトラックリピートモードのアイコンが表示されます。

1. トラックリピートモード（Track Rep）を選択する（☞29ページ）。

2. REPEAT/SOUNDボタンを繰り返し押し、設定したいリピートモードを選択する。

ボタンを押すごとに、トラックリピートアイコンが次のように切り換わります。

次のページにつづく

目次
メニュー
索引

曲の一部を繰り返し再生する（A-B Repeat）

曲の再生中、繰り返し再生したい部分（セクション）の開始ポイント（A）と終了ポイント（B）を設定できます。

1 A-Bリピートモード（A-B Rep）を選択する（☞29ページ）。

2 ►■（再生／停止）ボタンを押して曲を再生する。
「A→」が点滅します。

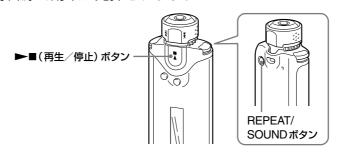
3 曲の再生中にREPEAT/SOUNDボタンを押して開始ポイント（A）を決定する。
「A→」が表示され、「B」が点滅します。

4 REPEAT/SOUNDボタンを押して終了ポイント（B）を決定する。
「A→B」が表示され、指定した部分（セクション）が繰り返し再生されます。

ご注意

- 1曲を超える長さのセクションは設定できません。
- 終了ポイント（B）が設定されていない場合は、自動的に曲の最後が終了ポイント（B）になります。
- 開始ポイント（A）の設定後、シャトルスイッチを回すと開始ポイント（A）が解除されます。
- 開始ポイント（A）の設定後、FMチューナーに切り換えると開始ポイント（A）が解除されます。

次のページにつづく ⇩

開始ポイント（A）や終了ポイント（B）を消すには

- A-Bリピート中にREPEAT/SOUNDボタンを押す。
- A-Bリピート中にSEARCH/MENUボタンを押す。
- A-Bリピート中にシャトルスイッチを回して次の曲／前の曲を選ぶ。

（A-Bリピートモードは取り消されません。）

A-Bリピートモードを取り消すには

設定メニューでリピートモードを変更します（☞29ページ）。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

トラックの指定ポイントのセンテンスを繰り返し再生する（Sentence Repeat）

指定ポイントからボイスデータ（センテンス）のみを自動的に検知し、設定回数を繰り返し再生します。外国語の学習の際に、BGM（背景音）のない語学学習用の教材音源で効果が発揮されます。

1 センテンスリピートモード（Sentence Rep）を選択する（☞29ページ）。

2 ►■（再生／停止）ボタンを押してトラックを再生する。

3 トラックの再生中にREPEAT/SOUNDボタンを押して開始ポイントを指定する。

開始ポイントから検索が始まり、ボイスデータ（センテンス）がある部分とボイスデータ（センテンス）がない部分を検知すると、センテンスリピートが開始されます。ボイスデータ（センテンス）は、1回（検知中）＋設定回数ぶん（☞29ページ）だけ繰り返されます。

ご注意

- ボイスデータ（センテンス）がある部分またはボイスデータ（センテンス）がない部分の長さが1秒以下の場合は、検知されません。
- ボイスデータ（センテンス）がない部分がトラックの最後まで検索されなかった場合、トラックの最後が終了ポイントとみなされて、開始ポイントからトラックの最後までの間でセンテンスリピートが行われます。
- センテンスリピート中に、FMチューナーに切り換えると指定ポイントは解除されます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

指定ポイントを消すには

- センテンスリピート中にREPEAT/SOUNDボタンを押す。
- センテンスリピート中にSEARCH/MENUボタンを押す。
- センテンスリピート中にシャトルスイッチを回して次の曲／前の曲を選ぶ。

（センテンスリピートモードは取り消されません。）

センテンスリピートモードを取り消すには

設定メニューでリピートモードを変更します（☞29ページ）。

目次
メニュー
索引

音質を設定する（デジタルサウンドプリセット）

高音や低音を強調してあらかじめお好みの音質を設定できます。2種類の音質設定を記憶させることができ、オーディオプレーヤーの再生中に設定を選べます。

音質設定を選ぶ

お買い上げ時の設定

音質（表示）	Sound1（♪1）	Sound2（♪2）	Sound OFF（表示なし）
Bass（低音）	＋1	＋3	0
Treble（高音）	0	0	0

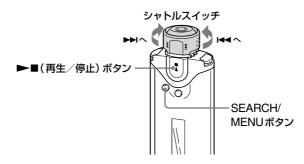
ご注意

- FMチューナーの使用中は、音質設定を選ぶことはできません。

1 REPEAT/SOUNDボタンを押し続ける。

ボタンを押すごとに音質設定が以下のように変わります。

♪1 → ♪2 → 表示なし（Sound OFF）

通常の音質設定に戻すには

「表示なし（Sound OFF）」を選びます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

音質を調整する（Sound）

Bass（低音）とTreble（高音）の2つの音質調整ができます。

音質	数値の設定
Bass（低音）	－4から＋3
Treble（高音）	－4から＋3

「Sound1」、「Sound2」にお好みの設定を記憶できます。音楽データの再生時に、記憶させた設定で楽しめます。

ご注意

- FMチューナーの使用中は、音質を調整することはできません。

1 設定メニューが表示されるまでSEARCH/MENUボタンを押し続ける。

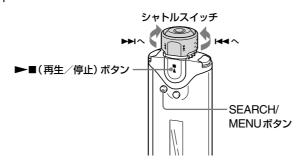
2 シャトルスイッチを回して「Sound>」を選び、▶■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

3 「Sound1」の音質を設定する。

① シャトルスイッチを回して「Sound1>」を選び、▶■（再生／停止）ボタンを押して決定する。
「Bass」の値に[　]が付いて表示されます。

② シャトルスイッチを回して、「Bass」の値を選び、▶■（再生／停止）ボタンを押して決定する。
「Treble」の値に[　]が付いて表示されます。

③ シャトルスイッチを回して、「Treble」の値を選び、▶■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

次のページにつづく ⇩

「Sound2」の設定を変えるには

手順❸の①で「Sound2>」を選びます。

メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

早送り／早戻しの最大速度を設定する（Cue/Rev）

曲の早送り／早戻しの最大速度を、「Cue/Rev Normal」（通常）または「Cue/Rev Rapid」（高速）の2段階で設定できます。

ご注意

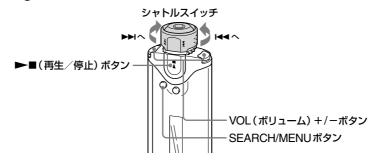
- この操作は、Music LibraryまたはIntelligent Shuffleを使用中で、かつ再生停止中にのみ実行できます。

1. 設定メニューが表示されるまでSEARCH/MENUボタンを押し続ける。
2. シャトルスイッチを回して「Cue/Rev>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。
3. シャトルスイッチを回して「Cue/Rev Normal」または「Cue/Rev Rapid」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

目次
メニュー
索引

お好みの音量を設定する（Volume Mode）

音量調節には2つのモードがあります。

マニュアルボリューム：

VOL（ボリューム）＋/－ボタンを押すと32段階で連続して音量が変わります。

プリセットボリューム：

VOL（ボリューム）＋/－ボタンであらかじめ設定しておいたLow、Mid、Highの3段階に切り換わります。

プリセットモードの音量を設定する（Preset Volume）

1. 設定メニューが表示されるまでSEARCH/MENUボタンを押し続ける。
2. シャトルスイッチを回して「Volume Mode>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。
3. シャトルスイッチを回して「Preset Volume>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。
「Low」の音量に[ ]が付いて表示されます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

4 Low、Mid、Highの各値を設定する。

① シャトルスイッチを回して「Low」の音量を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

② シャトルスイッチを回して「Mid」の音量を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

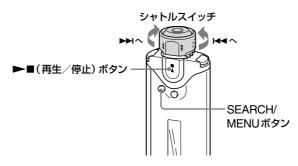
③ シャトルスイッチを回して「High」の音量を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

ご注意

- AVLS（☞42ページ）が設定されているときは設定した値よりも音量が低くなる場合があります。
  AVLSを解除（AVLS OFF）すると設定した値の音量になります。

マニュアルモードに戻すには（Manual Volume）

1 設定メニューが表示されるまでSEARCH/MENUボタンを押し続ける。

2 シャトルスイッチを回して「Volume Mode>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

3 シャトルスイッチを回して「Manual Volume」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

この設定によりVOL（ボリューム）＋/－ボタンによる音量調節ができるようになります。

メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

目次
メニュー
索引

音もれを抑える（音量リミット-AVLS）

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。

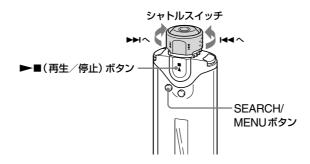
❶ **設定メニューが表示されるまでSEARCH/MENUボタンを押し続ける。**

❷ **シャトルスイッチを回して「AVLS>」を選び、▶■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

❸ **シャトルスイッチを回して「AVLS ON」を選び、▶■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
この設定により、音量が一定のレベル以上、上がらなくなります。

設定を「OFF」にするには

手順❸で「AVLS OFF」を選びます。

メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

ヒント

- 「AVLS ON」に設定されているときは、VOL（ボリューム）＋/－を押したときに「AVLS」と表示されます。

目次
メニュー
索引

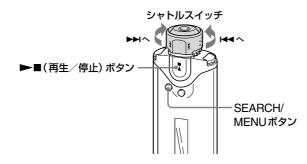
ピッという確認音を鳴らさないようにする（Beep）

本体の確認音を消すことができます。

❶ 設定メニューが表示されるまでSEARCH/MENUボタンを押し続ける。

❷ シャトルスイッチを回して「Beep>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

❸ シャトルスイッチを回して「Beep OFF」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

確認音が鳴るようにするには

手順❸で「Beep ON」を選びます。

メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

省電力設定をする（Power Save Mode）

一定時間（約15秒）操作がないときに、省電力画面に切り換えて、画面表示を消したりできます。

- Save On Normal：再生中またはFM放送を受信中に、アニメーションが表示されます（省電力画面）。
- Save On Super：画面には何も表示されません。電池の消耗を最も抑えることができます。

1 **設定メニューが表示されるまでSEARCH/MENUボタンを押し続ける。**

2 **シャトルスイッチを回して「Power Save Mode>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

3 **シャトルスイッチを回して「Save On Normal」または「Save On Super」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

省電力設定をOFFにするには

手順3で「Save OFF」を選びます。

メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

ヒント

- 省電力設定（Power Save Mode）を「Save OFF」に設定すると、常に画面が表示されます。

目次
メニュー
索引

表示画面を切り換える

Music Libraryの使用中に、表示される画面をお好みに応じて切り換えることができます。表示画面の切り換えは、DISP/FUNC（ディスプレイ/ファンクション）ボタンで操作します。
表示画面には以下の6種類があり、使用する画面をあらかじめ設定メニューで選択できます（☞47ページ）。

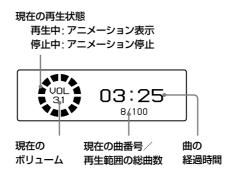
- Property：曲属性表示

  現在の再生範囲、現在のアルバム番号／再生範囲の総アルバム数、現在の曲番号／再生範囲の総曲数、コーデック（曲の圧縮方式）、ビットレートが表示されます。

- Clock1：時刻表示1

  現在時刻と年月日が表示されます。

- Clock2：時刻表示2

  現在時刻が表示されます。

- Flower：アニメーション表示
- Tropical Fish：アニメーション表示

次のページにつづく

目次
メニュー
索引

- Lapse Time：経過時間表示

現在の再生状態、現在のボリューム、曲の経過時間、現在の曲番号／再生範囲の総曲数が表示されます。

表示画面を切り換える

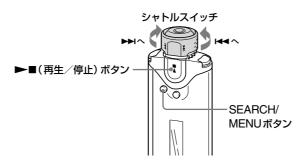
ご注意

- この操作は、Music Libraryの使用中にのみ実行できます。

1 Music Libraryの使用中にDISP/FUNC（ディスプレイ/ファンクション）ボタンを押す。

ボタンを押すごとに、表示画面が次のように切り換わります。

通常表示 → Property → Clock1 → Clock2 → Flower → Tropical Fish → Lapse Time → 通常表示

ご注意

- 上記は、Display Screen（☞47ページ）で、すべての表示画面にチェックマーク「✓」が付いている場合の表示順です。チェックマーク「✓」が付いていない画面は表示されません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

使用する画面を選択する（Display Screen）

DISP/FUNC（ディスプレイ/ファンクション）ボタンを押したときに、「Property」、「Clock1」、「Clock2」、「Flower」、「Tropical Fish」、「Lapse Time」の各画面を表示するかどうかを選択できます。
Display Screenで、チェックマーク「✓」が付いているものだけが表示されます。

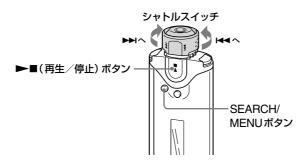
ご注意

- この操作は、Music Libraryの使用中にのみ実行できます。

1. 設定メニューが表示されるまでSEARCH/MENUボタンを押し続ける。

2. シャトルスイッチを回して「Display Screen>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

❸ 「Property」、「Clock1」、「Clock2」、「Flower」、「Tropical Fish」、「Lapse Time」のチェックマークを付ける。

① シャトルスイッチを回して「Property」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。
② シャトルスイッチを回して「Clock1」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。
③ シャトルスイッチを回して「Clock2」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。
④ シャトルスイッチを回して「Flower」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。
⑤ シャトルスイッチを回して「Tropical Fish」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。
⑥ シャトルスイッチを回して「Lapse Time」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

チェックマークが付いている項目に対して上記の操作を行うと、チェックマークがはずれます。

メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

目次
メニュー
索引

現在時刻を設定する（Date-Time）

本体の現在時刻を設定し、時計を表示させることができます。

❶ 設定メニューが表示されるまでSEARCH/MENUボタンを押し続ける。

❷ シャトルスイッチを回して「Date-Time>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

「年」の値に[　]が付いて表示されます。

❸ シャトルスイッチを回して「年」の数字を合わせ、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

「月」の値に[　]が付いて表示されます。

❹ 手順❸で「年」を入力したのと同様に「月」、「日」、「時」、「分」の数字を入力する。

シャトルスイッチ回して現在の日時を合わせ、►■（再生／停止）ボタンを押して決定します。

メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させせます。

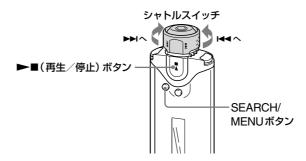
次のページにつづく ⇩

時計を表示させるには

Music Libraryを使用しているときは、DISP/FUNC（ディスプレイ/ファンクション）ボタンを繰り返し押して、画面表示を「時刻表示」（「Clock1」または「Clock2」）に切り換えます（☞46ページ）。
ただし、Display Screenメニューで、「Clock1」と「Clock2」の画面をどちらも表示しないように設定している場合は、上記の操作で現在時刻を確認することはできません。
Intelligent ShuffleまたはFMチューナーを使用しているときは、DISP/FUNC（ディスプレイ/ファンクション）ボタンを押すと現在時刻が表示されます。

ヒント

- 日付の表示形式は、「年/月/日」、「日/月/年」、「月/日/年」の3種類から選択できます。また、時刻の表示形式は「12時間表示」または「24時間表示」から選択できます。詳しくは「日付の表示形式を設定する（Date Disp Type）」（☞55ページ）、または「時刻の表示形式を設定する（Time Disp Type）」（☞56ページ）をご覧ください。

ご注意

- 本機を使用しないまま長期間放置すると、設定した日時がリセットされてしまいますのでご注意ください。
- 時刻が設定されていないときは、年月日、時刻とも「--」が表示されます。

目次
メニュー
索引

メモリーを初期化する（Format）

本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）することができます。

初期化すると、内蔵フラッシュメモリーに記録されている以下のデータはすべて消去されます。初期化する前に内容を確認してください。

- CONNECT Playerを使って本機に転送した音楽データ
- Windowsのエクスプローラなどを使って本機に取り込んだデータ

ご注意

- この操作は、Music Libraryを使用中で、かつ再生停止中にのみ実行できます。

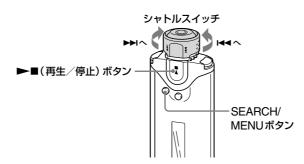
1. **再生停止中に、設定メニューが表示されるまでSEARCH/MENUボタンを押し続ける。**
2. **シャトルスイッチを回して「Advanced Menu>」を選び、▶■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
3. **シャトルスイッチを回して「Format>」を選び、▶■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
4. **シャトルスイッチを回して「OK」を選び、▶■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
   「Formatting...」が表示され、初期化が始まります。
   初期化が終了すると「Complete」と表示されます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

初期化（フォーマット）するのをやめるには

手順❹で「Cancel」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押します。

ご注意

- Windowsのエクスプローラで本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）しないでください。本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）するときは、必ず本機のFormatメニューで行ってください。

目次
メニュー
索引

USB接続方法を変える（USB Bus Powered）

お使いのパソコンの使用状況によっては、パソコンからの電力供給が不充分になり、パソコンから本機への曲の転送が正常に行われないなどの現象が発生することがあります。USB接続方法（USB Bus Powered）を「Low-Power 100mA」に設定すると、このような現象が改善する場合があります。

ご注意

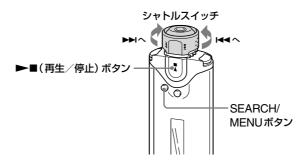
- この操作は、Music Libraryを使用中で、かつ再生停止中にのみ実行できます。

1. **再生停止中に、設定メニューが表示されるまでSEARCH/MENUボタンを押し続ける。**
2. **シャトルスイッチを回して「Advanced Menu>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
3. **シャトルスイッチを回して「USB Bus Powered>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
4. **シャトルスイッチを回して「Low-Power 100mA」または「High-Power500mA」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ヒント

- ノートパソコンと接続するときは、ノートパソコンに電源をつなぐことをおすすめします。
- USB接続方法（USB Bus Powered）を「Low-Power 100mA」に設定していると、充電時間が長くなります。

日付の表示形式を設定する（Date Disp Type）

現在時刻（☞49ページ）に表示される日付の表示形式を、「年/月/日」、「日/月/年」、「月/日/年」の3種類から選べます。

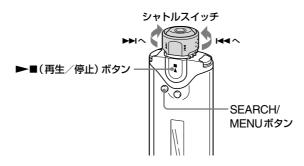
ご注意

- この操作は、Music Libraryを使用中で、かつ再生停止中にのみ実行できます。

1. **再生停止中に、設定メニューが表示されるまでSEARCH/MENUボタンを押し続ける。**

2. **シャトルスイッチを回して「Advanced Menu>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

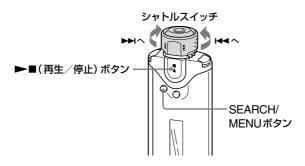
3. **シャトルスイッチを回して「Date Disp Type>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

4. **シャトルスイッチを回してお好みの設定を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
   設定値は、以下の3種類から選べます。
   - Date yy/mm/dd: 日付が「年/月/日」の形式で表示されます。
   - Date dd/mm/yy: 日付が「日/月/年」の形式で表示されます。
   - Date mm/dd/yy: 日付が「月/日/年」の形式で表示されます。

メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

目次
メニュー
索引

時刻の表示形式を設定する（Time Disp Type）

現在時刻（☞49ページ）の表示形式を「12時間表示」または「24時間表示」から選べます。

ご注意

- この操作は、Music Libraryを使用中で、かつ再生停止中にのみ実行できます。

1. **再生停止中に、設定メニューが表示されるまでSEARCH/MENUボタンを押し続ける。**
2. **シャトルスイッチを回して「Advanced Menu>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
3. **シャトルスイッチを回して「Time Disp Type>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
4. **シャトルスイッチを回して「Time 12h」または「Time 24h」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

本機の情報を表示する（Information）

本機の機種名やメモリー容量、シリアルナンバー、ファームウェアのバージョンを表示することができます。

ご注意

- この操作は、Music Libraryを使用中で、かつ再生停止中にのみ実行できます。

1 再生停止中に、設定メニューが表示されるまでSEARCH/MENUボタンを押し続ける。

2 シャトルスイッチを回して「Advanced Menu>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

3 シャトルスイッチを回して「Information>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

シャトルスイッチを回すごとに以下の情報が表示されます。

1：機種名
2：メモリー容量
3：シリアルナンバー
4：ファームウェアのバージョン

メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

目次
メニュー
索引

FM放送を聞く

本機のFMチューナーでは、FM放送とテレビ放送（1～3チャンネル）を聞くことができます。あらかじめ本体内蔵の充電式電池を充電し（☞66ページ）、ヘッドホンを装着してください。

1 FMチューナーに切り換える

❶ **機能選択メニューが表示されるまでDISP/FUNCボタンを押し続ける。**

❷ **シャトルスイッチを回して「FM」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

FMチューナー画面が表示されます。

FMチューナー画面*

* この画面は、お使いのものと異なる場合があります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

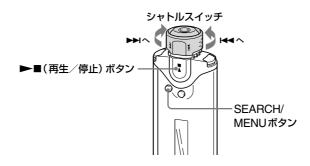
FMチューナーをやめてオーディオプレーヤーに戻るには

機能選択メニューが表示されるまでDISP/FUNC（ディスプレイ/ファンクション）ボタンを押し続け、機能選択メニューから「Intelligent Shuffle」または「Music Library」を選びます。

FM放送の音声を一時的に消すには

►■（再生／停止）ボタンを押すとFM放送の音声が出なくなります。約5秒後にSLEEPモードになり、画面が非表示になります。再び►■（再生／停止）ボタンを押すと、FM放送の音声が出るようになります。

ご注意

- SLEEPモード中にシャトルスイッチを ►►I（I◄◄）へ回すと、次の（前の）プリセット番号または周波数が選択されますが、音声は出ません。また、VOL＋/－ボタンを押した場合も音声は出ません。

次のページにつづく ⇩

2 自動で放送局を登録する（FM Auto Preset）

設定メニューから「FM Auto Preset」を実行すると、お使いの地域で受信できる放送局を自動的に探してプリセットに登録できます（最大30局まで）。はじめてFMチューナーをお使いになるときや、お使いになる地域が変わったときには、「FM Auto Preset」を実行して、受信できる放送局をプリセット登録しておくことをお勧めします。

ご注意

- FM Auto Presetを実行すると、それまで登録されていたプリセットはすべて消去されます。

❶ **設定メニューが表示されるまでSEARCH/MENUボタンを押し続ける。**

❷ **シャトルスイッチを回して「FM Auto Preset>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

❸ **シャトルスイッチを回して「OK」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
受信できる放送局が低い周波数から順番で登録されます。
登録が終了すると「Complete」と表示されます。SEARCH/MENUボタンを繰り返し押してメニューモードを終了させると、いちばん最初に登録された放送局を受信します。

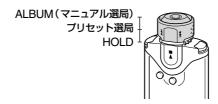
次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

自動で放送局を登録するのをやめるには

手順❸で「Cancel」を選び、►■（再生/停止）ボタンを押します。

メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

多くの不要な放送局を受信してしまうときは

普通の電波状態で受信感度が強すぎるときは、受信感度の設定（☞65ページ）を「Scan Sens Low」に設定してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

3 選局する

聞きたい放送局を選ぶ方法には、2つのモードがあります。

- **プリセット選局モード**

  シャトルスイッチを中央（プリセット選局）の位置にすると、プリセット選局モードになります。
  プリセット選局モードでは、登録されているプリセット番号で放送局を選ぶことができます。

- **マニュアル選局モード**

  シャトルスイッチをALBUM（マニュアル選局）の位置にすると、マニュアル選局モードになります。
  マニュアル選局モードでは、周波数で放送局を選ぶことができます。

プリセット選局

プリセット番号に[　]が付いて表示されます。

こんなときは	シャトルスイッチ操作
登録されている次のプリセット番号を選ぶ	▶▶I へ短く回す
登録されている前のプリセット番号を選ぶ	I◀◀ へ短く回す

ご注意

- 放送局を登録していない場合は、プリセット選局することができません。「FM Auto Preset」を実行して、受信できる放送局をプリセット登録してください（☞60ページ）。

次のページにつづく ⇩

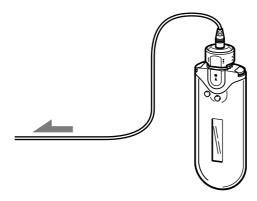
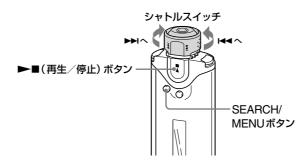
目次
メニュー
索引

マニュアル選局

周波数に[ ]が付いて表示されます。選んだ周波数が既にプリセットに登録されているときは、そのプリセット番号も表示されます。

こんなときは	シャトルスイッチ操作
次の周波数を選ぶ*1	▶▶|へ短く回す
前の周波数を選ぶ*1	|◀◀ へ短く回す
受信できる次の放送局を選ぶ*2	▶▶|へ回し続ける
受信できる前の放送局を選ぶ*2	|◀◀ へ回し続ける

*1 シャトルスイッチを▶▶|（|◀◀）へ回すごとに、周波数は次にように切り換わります。

76.0 MHz ↔ 76.1 MHz ↔ 76.2 MHz ↔ …
3CH ↔ 2CH ↔ 1CH ↔ 90.0 MHz

*2 シャトルスイッチを▶▶|（|◀◀）へ回した状態にしておくと、次の（前の）放送局を探します。受信できる放送局を見つけると受信します。
普通の電波状態で受信感度が強すぎるときは、受信感度の設定（☞65ページ）を「Scan Sens Low」に設定してください。

よりよく受信するには

- ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。できるだけ長く伸ばしてお使いください。

お好みの放送局をプリセット登録する

「FM Auto Preset」（☞60ページ）で登録できなかった放送局を、必要に応じてプリセット登録することができます。

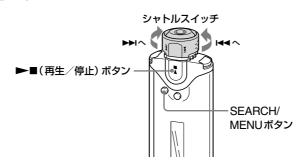
❶ **マニュアル選局で、登録したい周波数を選ぶ。**

❷ **►■（再生／停止）ボタンを押し続ける。**
手順❶で選んだ周波数がプリセット登録され、周波数の左側にプリセット番号が表示されます。

ヒント

- プリセットには、最大30局（P01 ～ P30）まで登録できます。

ご注意

- プリセット番号は、常に低い周波数から順番に並べ変えられます。

登録した放送局を削除するには

❶ **削除したい周波数のプリセット番号を選ぶ。**

❷ **►■（再生／停止）ボタンを押し続ける。**

❸ **シャトルスイッチを回して「OK」選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**
登録していたプリセットが削除され、ひとつ後のプリセットが表示されます。

目次
メニュー
索引

受信感度を変更する（Scan Sens）

「FM Auto Preset」（☞60ページ）や「マニュアル選局」（☞63ページ）を行うときに、受信感度が強すぎて、多くの不要な放送局を受信してしまうことがあります。このようなときは、受信感度を「Scan Sens Low」に設定してください。

1. 設定メニューが表示されるまでSEARCH/MENUボタンを押し続ける。

2. シャトルスイッチを回して「Scan Sens>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

3. シャトルスイッチを回して「Scan Sens Low」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

受信感度を元に戻すには

手順❸で「Scan Sens High」を選びます。

メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

目次
メニュー
索引

本機の充電について

本機はパソコンと接続することによって、充電されます

電池残量表示が FULL になったら、充電完了です（充電時間：約120分[*1]）。はじめてお使いになるときは、なるべく電池残量表示が FULL になるまで連続して充電することをお勧めします。

*1 USB接続方法（☞53ページ）が「High-Power500mA」に設定してあり、室温で電池残量がない状態から電池を充電したときのめやすです。電池の残量や電池の状態などにより、上記の充電時間は異なる場合があります。また、充電時の温度が低い場合や音楽データを本機に転送中なども充電時間は長くなります。

電池の持続時間（連続再生時）[*2]

ATRAC形式（132 kbps）の場合：約50時間
ATRAC形式（48 kbps）の場合：約45時間
ATRAC形式（128 kbps）の場合：約40時間
MP3形式（128 kbps）の場合：約40時間
WMA形式（128 kbps）の場合：約30時間
FM放送受信時：約22時間

*2 省電力設定（☞44ページ）が「Save On Normal」に設定してあるときのめやすです。周囲の温度や使用状況により、上記の持続時間は異なる場合があります。

電池残量の表示について

ご使用中、表示窓（☞11ページ）の電池残量表示でお知らせします。

目盛りが少なくなるほど、電池残量が減っています。また「LOW BATTERY」と表示された場合は、再生できません。本機をパソコンに接続して充電を行ってください。

ご注意

- 充電は周囲の温度が5 ～ 35℃の環境で行ってください。
- 本機とパソコン間でのデータ転送中は、「USB Connect」の上のアイコンが左右にアニメーション表示されます。アイコンが動いている間は、USB接続ケーブルを抜かないでください。転送中のデータが破壊されることがあります。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。必ず、付属のUSB接続ケーブルで接続してください。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコンに接続しているときは、本体の操作はできません。
- パソコンに接続しているときは、内蔵フラッシュメモリーの内容がWindowsのエクスプローラでも表示できます。

電池を長持ちさせたいときは

本機の設定変更や、電源管理を適切に行うことで、電池の使用量を節約し、長時間使用できます。
ここでは、電池を長持ちさせるヒントをご紹介します。

画面表示を消す

一定時間（約15秒）操作がないときに画面表示を消す設定にすると、電池の消耗を抑えられます。
設定方法は、「省電力設定をする（Power Save Mode）」（☞44ページ）をご覧ください。

音楽ファイル形式やビットレートを変える

曲のフォーマットやビットレートによっても、電池の使用可能時間（連続再生時）*が変わります。
ATRAC 48kbpsは約45時間、MP3 128kbpsは約40時間再生できます。
なお、使用状況によって時間は変わります。

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

パソコン接続時のご注意

USB接続時に、パソコンがサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、ハイバネーション（休止状態）に入ると、充電されないため電池が消耗します。

ご注意

- 電源コードを接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンのバッテリーが消耗します。電源コードを接続していないノートパソコンと本機を接続したまま長時間放置しないでください。

目次
メニュー
索引

音楽ファイル形式とビットレートとは?

音楽ファイル形式とは

インターネットや音楽CDから曲をCONNECT Playerへ取り込み、保存するときの形式を音楽ファイル形式といいます。
音楽ファイル形式には、MP3やWMA、ATRACなどがあります。

MP3:MPEG-1 Audio Layer3の略で、ISO(国際標準化機構)のワーキンググループであるMPEGで定めたオーディオ圧縮の規格です。
音声データをCDの約10分の1に圧縮できます。

WMA:Windows Media Audioの略で、Microsoft社が開発したオーディオ圧縮形式です。MP3より小さいファイルサイズで、同等の音質が楽しめます。

ATRAC:ATRAC(Adaptive Transform Acoustic Coding)は、ATRAC3およびATRAC3Plusの総称で、高音質と高圧縮を両立させたオーディオ圧縮技術です。ATRAC3では、音声データをCDの約10分の1に圧縮でき、ATRAC3plusでは、約20分の1に圧縮できます。

ビットレートとは

単位時間あたりにやりとりされる情報量のことで、64 kbps(bits per second)のように表します。数値が大きいほど情報量は多くなり、音質は向上しますが、変換後の音楽ファイルサイズも大きくなります。

音楽ファイルサイズと音質、ビットレートの関係

ビットレートを上げれば、転送できる曲数が少なくなりますが、高音質な音楽ファイルを本機に転送して楽しめます。
ビットレートを下げれば、転送できる曲数は多くなりますが、音質が低下します。
本機で再生できる音楽ファイル形式とビットレートについて詳しくは、☞93ページをご覧ください。

ご注意

- パソコンに取り込んだときのビットレートより高いビットレートで本機に転送しても、取り込んだときのビットレート以上の音質で再生できません。

目次
メニュー
索引

曲間を空けずに再生したいときは

曲をATRAC形式でCONNECT Playerに取り込んで本機に転送すれば、曲間を空けずに再生できます。
コンサートやライブなど曲間を空けずに収録されたアルバムは、曲をATRAC形式でCONNECT Playerに取り込み本機に転送すれば、本機で最後まで途切れることなく再生できます。

ご注意

- 本機で曲間を空けずに再生するには、曲間を空けずに収録された1つのアルバム内の曲を、同じビットレートのATRAC形式で取り込む必要があります。
- CONNECT Playerでは、ATRAC形式でも曲間が空いて再生されます。

目次
メニュー
索引

SonicStageに保存している曲を再生する

SonicStageに保存している曲をCONNECT Playerへ取り込めば、本機で再生できます。
CONNECT Playerへの曲の取り込みについて詳しくは、CONNECT Playerのヘルプをご覧ください。

ご注意

- SonicStageに保存している曲（音楽データ）のうち、拡張子が「.omg」のOpenMG形式の音楽ファイルは、CONNECT Playerへ取り込めません。「SonicStageファイル一括変換ツール」を使い、拡張子を「.oma」の音楽ファイル形式に変換してからCONNECT Playerへ取り込んでください。詳しくは、CONNECT Playerのヘルプをご覧ください。

目次
メニュー
索引

曲情報はどうやって取り込まれるの？

CONNECT Playerを使えば、CDを挿入しただけでアルバム名やアーティスト名、曲名などの曲情報を自動で取得できます。これは、CDの曲数や時間などの情報を元に、曲情報を曲情報のデータサービス：CDDB（Gracenote CD DataBase）から、インターネット経由で自動的に無償で取得しているためです。
このとき取得した曲情報は本機に転送され、さまざまな検索が可能になります。

ヒント

- CONNECT Playerでは、取得したアルバム名やアーティスト名、曲名が日本語の場合、読み仮名を判断し50音順で表示します。
- アーティストの姓と名の間にスペースがない方が、読み仮名変換の精度が高くなります。取得した曲情報のアーティスト名の姓と名の間にスペースがある場合は、曲情報を編集してください。曲情報の編集について詳しくは、CONNECT Playerのヘルプをご覧ください。

ご注意

- CDによっては曲情報を取得できないことがあります。曲情報を取得できない場合は、CONNECT Playerで曲情報を入力してください。曲情報の編集について詳しくは、CONNECT Playerのヘルプをご覧ください。

目次
メニュー
索引

音楽以外のデータを保存する

Windowsのエクスプローラを使って、パソコンのハードディスク内のデータを本機の内蔵フラッシュメモリーに転送できます。
Windowsのエクスプローラ上にリムーバブルディスクとして、本機の内蔵フラッシュメモリーが表示されます。

ご注意

- Windowsのエクスプローラを使って本機の内蔵フラッシュメモリーを操作している間、CONNECT Playerは使わないでください。
- エクスプローラを使って、MP3などのファイルを転送しても本機では再生できません。CONNECT Playerを使って、転送してください。
- データへのアクセス中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。データを転送中にUSB接続ケーブルを抜くと、転送中のデータが壊れることがあります。
- パソコンで本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）しないでください。本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）するときは、必ず本機のFormatメニュー（☞51ページ）で行ってください。

目次
メニュー
索引

ファームウェアをアップデートする

本機は、最新のファームウェアをインストールすることで、新しい機能の追加などを行うことができます。最新のファームウェアおよび更新の方法について詳しくは、「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページでご案内しておりますのでご確認ください。
http://www.sony.co.jp/support-pa/

1. **「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページから、「デジタルプレイヤー・ソフトウェア更新ツール」をダウンロードする。**

2. **本機をパソコンに接続し、「デジタルプレイヤー・ソフトウェア更新ツール」を起動する。**

3. **「デジタルプレイヤー・ソフトウェア更新ツール」のメッセージに従ってアップデートを行う。**

4. **完了のメッセージが表示されたら、[終了]をクリックする。**
   「デジタルプレイヤー・ソフトウェア更新ツール」が終了します。
   これでファームウェアのアップデートは完了です。

目次
メニュー
索引

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前に、以下の手順に従ってください。

1 クリップなどの細い棒で、本機背面のリセットボタンを押す。

リセットボタンを押しても、本機に保存しているデータや設定は消去されません。

2 「故障かな？と思ったら」の各項目で調べる。

3 CONNECT Playerを使用しているときは、CONNECT Playerのヘルプで調べる。

4 「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページで調べる。
http://www.sony.co.jp/support-pa/

5 手順1～4を確認しても問題が解決しないときは、お客様ご相談センター（☞98ページ）またはお買い上げ店に相談する。

本体の操作

症状	原因/処置
再生音が出ない 雑音が入る	● 音量がゼロになっている ➔ 音量を上げてください（☞9ページ）。 ● ヘッドホンがしっかり差し込まれていない ➔ ヘッドホンジャックにしっかり差し込んでください（☞10ページ）。 ● ヘッドホンのプラグが汚れている ➔ 乾いた布でプラグの汚れをふきとってください。 ● 曲が入っていない ➔ 「NO DATA」と表示されているときは、パソコンから音楽データを転送してください。
ボタン操作に 反応しない	● シャトルスイッチがHOLDの位置になっている ➔ シャトルスイッチを中央の位置（通常モード）にしてください（☞9ページ）。 ● 結露している ➔ そのまま約2、3時間おいてください。 ● 電池の残量が少ない ➔ 充電してください（☞66ページ）。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

本体の操作（つづき）

症状	原因／処置
転送した曲が見つからない	• Music Library機能によって、再生範囲が絞り込まれている ➔ サーチメニューで「All Song」を選択してください（☞12ページ）。 • Windowsのエクスプローラで、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）した ➔ 本機のFormatメニューで、内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください（☞51ページ）。 • 転送中、付属のUSB接続ケーブルが抜けた ➔ 使用可能なファイルをパソコンに戻し、本機のFormatメニューで、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください（☞51ページ）。
再生音が大きくならない	• AVLSが設定されている ➔ AVLS設定を解除してください（☞42ページ）。
右チャンネルから音が出ない	• ヘッドホンが正しく差し込まれていない ➔ ヘッドホンプラグをカチッと音がするまで差し込んでください（☞10ページ）。 • ヘッドホン延長コードが本機のヘッドホンジャックまたはヘッドホンコードに正しく接続されていない ➔ ヘッドホン延長コードを本機の ヘッドホンジャックまたはヘッドホンコードにカチッと音がするまで差し込んでください（☞10ページ）。
再生していたら急に音が止まった	• 電池が消耗している ➔ 充電してください（☞66ページ）。

表示窓

症状	原因／処置
画面に「□」と表示される	• 本機で表示できない文字が使用されている ➔ 付属のCONNECT Playerソフトウェアを使って本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

充電

症状	原因／処置
電池の持続時間が短い	• 5℃以下の環境で使用している → 電池の特性によるもので故障ではありません。 • 充電式電池の交換が必要 → ソニーサービス窓口にお問い合わせください。 • 充電時間が足りない → 本機のUSB接続方法（USB Bus Powered）が「Low-Power 100mA」になっている場合は、長めに充電してください（☞53ページ）。

パソコンとの接続/CONNECT Player

症状	原因／処置
インストールできない	• 対応のOS以外のOSを使っている →「CONNECT Player はじめにお読みください」をご覧ください（☞「クイックスタートガイド」）。 • すべてのWindowsのソフトウェアを終了していない → ほかのソフトウェアが起動した状態でインストールを行うと、不具合が生じることがあります。特にウィルスチェックソフトウェアは負担が大きいため、必ず終了してください。 • ハードディスクの空き容量が足りない → ハードディスクの空き容量は200MB以上必要なため、不要なファイルなどを削除してください。 • Administrator権限またはコンピューターの管理者以外でログオンしている → Administrator権限またはコンピューターの管理者でログオンしていない場合、インストールできないことがあります。Administrator権限またはコンピューターの管理者でログオンしてください。
画面上のバーが動いていない。または、CDドライブやハードディスクのアクセスランプが数分間点灯していない	• インストール作業は正常に行われているため、そのままお待ちください。お使いのパソコン、CDドライブによっては、インストール終了まで30分以上かかる場合があります。
CONNECT Playerが起動しない	• WindowsのOSをバージョンアップするなど、パソコン環境を変更すると、起動しない場合があります。「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」（http://www.sony.co.jp/support-pa/）のホームページで調べてください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

パソコンとの接続/CONNECT Player（つづき）

症状	原因/処置
USB接続ケーブルでパソコンにつないでも、本機の表示窓に「USB Connect」と表示されない	• USB接続ケーブルがきちんと接続されていない → USB接続ケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。 • USBハブを使用している → USBハブを使用していると、表示されない場合があります。動作保証外のため、パソコンのUSB端子に直接接続してください。 • CONNECT Playerの認証を行うために、時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。 • パソコン上でほかのソフトウェアが起動している → しばらくしてから、USB接続ケーブルを接続し直してください。それでも解決しない場合は、ケーブルを抜いてからパソコンを再起動してください。 • 本機のUSB接続方法（USB Bus Powered）が「High-Power500mA」になっている → USB接続方法（USB Bus Powered）を「Low-Power 100mA」にしてください（☞53ページ）。 • ソフトウェアのインストールに失敗している → 本機とパソコンの接続をはずし、付属のCD-ROMを使ってもう一度ソフトウェアをインストールしてください（☞「クイックスタートガイド」）。取り込んだ音楽データは引き継がれます。
本機がパソコンに認識されない	• USB接続ケーブルがきちんと接続されていない → USB接続ケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。 • USBハブを使用している → USBハブを使用していると、認識されない場合があります。動作保証外のため、パソコンのUSB端子に直接接続してください。 • ソフトウェアのインストールに失敗している → 本機とパソコンの接続をはずし、付属のCD-ROMを使ってもう一度ソフトウェアをインストールしてください（☞「クイックスタートガイド」）。登録した音楽データは引き継がれます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

パソコンとの接続/CONNECT Player（つづき）

症状	原因/処置
転送できない	• USB接続ケーブルがきちんと接続されていない ➔ USB接続ケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。 • 本機の空き容量が不足している ➔ 聞かなくなった曲を削除して、空き容量を増やしてください。 • 本機に転送できる曲数は、65,535曲、転送できるプレイリストは、8,192です。それを超える曲数またはプレイリストは転送できません。また、1プレイリストにつき999曲を超える曲数は転送できません。 • 再生期間や再生回数などの再生制限のついた曲は、著作権者の意向により本機に転送できない場合があります。それぞれの曲に関する設定内容については、配信者にお問い合わせください。
転送できる曲数が少ない （録音できる時間が短い）	• 本機の空き容量が不足している ➔ 聞かなくなった曲を削除して、空き容量を増やしてください。 • 本機に音楽以外のデータが入っている ➔ 本機に音楽以外のデータが入っていると、転送できる曲数が減ります。音楽以外のデータをパソコンに移動するなどして、本機の空き容量を増やしてください。
パソコンに戻せない	• 転送したパソコンと異なるパソコンに曲を戻そうとしている ➔ 転送したパソコンと異なるパソコンには曲を戻せません。曲を転送したパソコンへ曲を戻してください。 • 転送元のパソコンで曲を削除した ➔ 転送元のパソコンで曲を削除すると、曲を戻せません。
パソコン接続中の動作が安定しない	• USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用している ➔ USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用すると、動作が安定しません。動作保証外のため、付属のUSB接続ケーブルで直接パソコンと接続してください。

次のページにつづく ⇩

FMチューナー

症状	原因/処置
FM放送がよく聞こえない	● 受信している周波数が適切でない → 放送がもっともよく聞こえる周波数をマニュアル選局してください（☞63ページ）。
雑音が多く、音が悪い	● 電波が弱い → 建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓側でお聞きください。 ● ヘッドホンのコードが伸びていない → ヘッドホンのコードがアンテナになります。できるだけ長く伸ばしてお使いください。
雑音が入る	● 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している → 携帯電話などを本機から離して使用してください。

その他

症状	原因/処置
操作時の確認音が鳴らない	● Beepの設定が「Beep OFF」になっている → メニューで「Beep」の設定を「Beep ON」にしてください（☞43ページ）。
本体が温かくなる	● 充電中に本体が一時的に温かくなることがあります。

目次
メニュー
索引

メッセージ一覧

本体表示窓にエラー表示が出たら、下の表に従ってチェックしてみてください。

表示	意味	処置
AVLS（点滅）	AVLS設定時に、音量が規定値を超えている。	音量を下げるか、または AVLS設定を解除してください（☞42ページ）。
CANNOT PLAY	• 本機では再生できないファイル形式である。 • 転送の途中で転送を強制中断した。	再生できない音楽データがあり、その音楽データが不必要な場合は、内蔵フラッシュメモリーから削除することができます。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞83ページ）をご覧ください。
CHARGE ERROR	パソコンからの電力供給が異常である。	使用するパソコンを変えてお試しください。
DATA ACCESS	内蔵フラッシュメモリーにアクセス中。	アクセスが終わるまでお待ちください。内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）しているときに表示されます。
EXPIRED	• 再生期限付きの音楽データを有効期限外に再生しようとしている。 • 本機内の音楽データの情報が最新でない。	• 本機をCONNECT Player と接続して、情報を更新してください。 • 再生できない音楽データがあり、その音楽データが不必要な場合は、内蔵フラッシュメモリーから削除することができます。詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞83ページ）をご覧ください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示	意味	処置
FILE ERROR	• データを読み込めない。 • データが異常である。	「FILE ERROR」となった曲を削除してください。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞83ページ）をご覧ください。
FORMAT ERROR	パソコンなどを使って、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）した。	本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞83ページ）をご覧ください。
FUNCTION LIMITED	CONNECT Player以外の音楽管理ソフトウェアに接続した。	CONNECT Playerに接続してください。
HOLD	シャトルスイッチが「HOLD」の位置になっているため、本機の操作ができない。	本機の操作を行う場合は、シャトルスイッチを中央の位置（通常モード）にしてください（☞9ページ）。
LOW BATTERY	電池が消耗している。	充電してください（☞66ページ）。
MG ERROR	著作権に対して不正なファイルを検出した。	必要なデータをパソコンに戻してから、本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞83ページ）をご覧ください。
NO DATA	内蔵フラッシュメモリーに音楽データが入っていない。	音楽データが入っていない場合は、付属のCONNECT Playerソフトウェアを使って音楽データを転送してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示	意味	処置
NO DATABASE	データの転送中に、本機とCONNECT Playerの接続が切れてしまった。	必要なデータをパソコンに戻してから、本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞83ページ）をご覧ください。
NO ITEM	検索したい項目の音楽データがない。	付属のCONNECT Playerソフトウェアを使って、音楽データを転送してください。
PRESET FULL	プリセットに31局以上登録しようとした。	プリセットは最大30局まで登録できます。不要な放送局を削除してから（☞64ページ）、再度登録してください。
USB Connect	本機がパソコンと接続されている。	エラーではありません。CONNECT Playerを使って曲を転送したり、戻したりできます。ただし、本機を操作することはできません。
	アイコンが左右に動作しているとき：内蔵フラッシュメモリーにアクセス中。	アクセスが終わるまでお待ちください。内蔵フラッシュメモリーへデータを転送しているときや初期化（フォーマット）しているときに表示されます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには

「CANNOT PLAY」、「EXPIRED」、「FILE ERROR」、「FORMAT ERROR」、「MG ERROR」、「NO DATABASE」が表示された時は、内蔵フラッシュメモリーの一部またはすべてのデータに異常があります。
その場合は、以下の方法で再生できないデータを削除してください。

1. 本機をパソコンに接続し、CONNECT Playerを起動させる。
2. データの異常の原因がはっきり分かっている場合は、CONNECT Playerで削除する。
3. それでも解決しない場合は、パソコンに接続した状態で、CONNECT Playerを使い、パソコンに戻すことの可能な曲はすべてパソコンに戻す。
4. パソコンからはずして、本機のFormatメニューの操作で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）する（☞51ページ）。

目次
メニュー
索引

CONNECT Playerをアンインストールする

インストールした付属のソフトウェアをパソコンから削除したいときは、以下の手順に従ってください。

1 「スタート」メニューから「コントロールパネル」[1]をクリックする。

2 「プログラムの追加と削除」[2]をダブルクリックする。

3 一覧から「CONNECT Player」を選び、「変更と削除」をクリックする。

メッセージに従ってパソコンを再起動します。
再起動が完了すると、アンインストールは終了です。

1) Windows 2000では「設定」→「コントロールパネル」
2) Windows 2000では「アプリケーションの追加と削除」

ご注意

- CONNECT Playerをインストールすると、「OpenMG Secure Module」もインストールされます。「OpenMG Secure Module」は、他のソフトウェアでも使用していることがありますので削除しないでください。

目次
メニュー
索引

使用上のご注意

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

充電について

- 充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。
- 充電式電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、電池が劣化していると思われます。ソニーサービス窓口へお問い合わせください。

置き場所について

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く
- 窓を閉めきった自動車内（とくに夏季）
- 風呂場など、湿気が多いところ
- ほこりが多いところ
- 磁石、スピーカーボックス、テレビなど、磁気を帯びたものの近く

ヘッドホンについて

付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターに相談してください。

ご使用について

- ストラップをつけてご使用する場合は、ストラップが引っかかると危険ですので、ご注意ください。
- 飛行機などに乗るときは、ご使用にならないでください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

付属のソフトウェアについて

- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。
- 本機に付属のソフトウェア上で表示できる言語は、パソコンにインストールされているOSによって異なります。お使いのパソコンのOSが、表示したい言語に対応しているかどうかをご確認ください。
  - 言語によっては、このソフトウェア上で正しく表示できない場合があります。
  - ユーザー定義の文字や特殊な記号は表示されない場合があります。

試聴用楽曲について

本製品は、店頭でお客様に実際に手にとってご試聴・ご体験頂くことを目的として、あらかじめ試聴用楽曲データをプリインストールしております。この楽曲データは店頭での試聴用途のためのものですので、お客様がお使いのPCに転送することはできません。楽曲を削除される場合は、CONNECT Player上で行って頂きますようお願いいたします。
（地域によっては試聴用楽曲データがプリインストールされていない場合があります。）

次のページにつづく ⇩

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合、および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。
- 以下の理由により、一部の文字や記号が本機上で正しく表示されない場合があります。
  - パソコンに接続しているポータブルプレーヤーの性能。
  - パソコンに接続しているポータブルプレーヤーが正常に動作していない。
  - 曲のID3タグ情報が、ポータブルプレーヤーでサポートされていない言語や記号で書かれている。

目次
メニュー
索引

廃棄するときのご注意

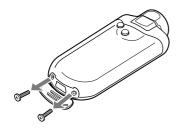
環境保護のため、内蔵のリチウムイオン電池を取り出してください。

⚠警告

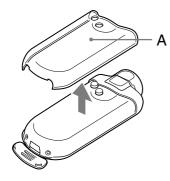
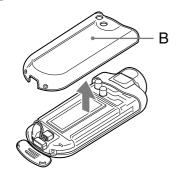
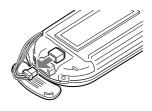
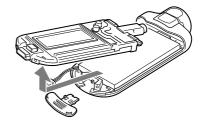
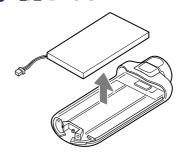
本機を廃棄するとき以外は、絶対にネジを外さないでください。

⚠注意

- 内蔵充電式電池は、完全に消耗した状態を確認してから取り出してください。
- 内部の金属部分（取り付け板など）の取り扱いには充分ご注意ください。

リチウムイオン電池の廃棄について

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については有限責任中間法人JBRCのホームページを参照してください。
URL: http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

内蔵のリチウムイオン電池の取り出しかた

1 ビスをはずす

2 透明ケースＡをはずす

3 透明ケースＢをはずす

4 コネクタをはずす

5 基板をはずす

6 電池をはずす

目次
メニュー
索引

お手入れ

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で拭いた後、乾ぶきします。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液をしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。内部に水が入らないようにご注意ください。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布で乾拭きしてください。

目次
メニュー
索引

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この操作ガイドをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルミュージックプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

目次
メニュー
索引

商標について

- CONNECT Playerおよびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- OpenMG、ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plusおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。
- "ウォークマン"、"WALKMAN" はヘッドホンステレオ商品を表すソニー株式会社の登録商標です。WALKMANはソニー株式会社の登録商標です。
- Microsoft およびWindows、Windows NT、Windows Media は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 本機はドルビー・ラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- PentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2004 Gracenote.
  Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000-2004 Gracenote. This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending. Services supplied and/or device manufactured under license for following Open Globe,Inc. United States Patent 6,304,523. Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote.
  The Gracenote logo and logotype, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

目次
メニュー
索引

主な仕様

再生信号圧縮方式（再生できる音楽ファイル形式）

– MPEG-1 Audio Layer-3（MP3）
– Windows Media Audio (WMA)*
– アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング（ATRAC）

* ファームウェアのバージョン2.0以降で対応。ファームウェアのバージョンの確認方法は、☞57ページの「本機の情報を表示する（Information）」をご覧ください。また、ファームウェアをアップデートする場合は、☞73ページの「ファームウェアをアップデートする」もご覧ください。

記録できる最大曲数* と時間の目安

* 1曲4分の曲を転送した場合

	NW-A605		NW-A607	
ビットレート	曲数	時間	曲数	時間
48 kbps	345曲	約23時間00分	695曲	約46時間20分
64 kbps	255曲	約17時間00分	520曲	約34時間40分
96 kbps	170曲	約11時間20分	345曲	約23時間00分
128 kbps	130曲	約 8時間40分	260曲	約17時間20分
132 kbps	125曲	約 8時間20分	250曲	約16時間40分
160 kbps	100曲	約 6時間40分	205曲	約13時間40分
192 kbps	85曲	約 5時間40分	170曲	約11時間20分
256 kbps	65曲	約 4時間20分	130曲	約 8時間40分
320 kbps	50曲	約 3時間20分	105曲	約 7時間00分

	NW-A608	
ビットレート	曲数	時間
48 kbps	1,350曲	約90時間00分
64 kbps	1,000曲	約66時間40分
96 kbps	700曲	約46時間40分
128 kbps	525曲	約35時間00分
132 kbps	510曲	約34時間00分
160 kbps	420曲	約28時間00分
192 kbps	350曲	約23時間20分
256 kbps	260曲	約17時間20分
320 kbps	210曲	約14時間00分

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

対応ビットレート

MP3：32 ～ 320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応
WMA：48 ～ 192 kbps、可変ビットレート（VBR）対応
ATRAC：48 / 64 / 66（ATRAC3）* / 96 / 105（ATRAC3）* / 128 / 132（ATRAC3）/ 160 / 192 / 256 / 320 kbps

* CONNECT Playerでは、ATRAC3 66/105 kbpsでのCD録音はできません。

サンプリング周波数

MP3、WMA、ATRAC：44.1 kHz

周波数特性*

20 ～ 20,000 Hz（再生時、単信号測定）

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の規格による測定値です。

FM放送受信周波数

76.0 ～ 90.0 MHz（TV 1 ～ 3CH）

アンテナ

ヘッドホンコードアンテナ

インターフェース

ヘッドホン：ステレオミニ
Hi-speed USB（USB 2.0 準拠）

S/N比

80 dB以上

動作温度

5 ～ 35℃

電源

- 内蔵リチウムイオン充電式電池使用
- USB電源（付属のUSBケーブルを接続して、パソコンから供給）

電池持続時間*

ATRAC形式の場合：約50時間（132 kbps再生時）
ATRAC形式の場合：約45時間（48 kbps再生時）
ATRAC形式の場合：約40時間（128 kbps再生時）
MP3形式の場合：約40時間（128 kbps再生時）
WMA形式の場合：約30時間（128 kbps再生時）
FM放送受信時：約22時間

* 省電力設定（☞44ページ）が「Save On Normal」に設定してあるときのめやすです。周囲の温度や使用状況により、上記の持続時間は異なる場合があります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

外形寸法

84.9 x 28.8 x 13.9 mm
（幅／高さ／奥行き、最大突起部を含まず）

質量

約48g（JEITA）**

** 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

CONNECT Player

動作環境

- OSについて
  – Windows 2000 Professional（Service Pack 4以降）
  – Windows XP Home Edition
  – Windows XP Professional
  – Windows XP Media Center Edition
  – Windows XP Media Center Edition 2004
  – Windows XP Media Center Edition 2005
  を標準インストールしたIBM PC/AT互換機専用です。（日本語版のみ）
- CPU、メモリについて
  Pentium III 450 MHz以上、RAM 256 MB以上（512 MB以上を推奨）の環境が必要です。
- ハードディスクについて
  ハードディスクには200 MB以上の空き容量が必要です。
  Windows のバージョンによってはそれ以上使用する場合があります。また、音楽データを扱うための空き容量がさらに必要です。
- ディスプレイの設定について
  画面の解像度：800 x 600 ピクセル以上（1024 x 768 ピクセル以上を推奨）
  画面の色：High Color（16 ビット）以上（256 以下では正しく動作しない場合があります）
- CD-ROMドライブについて
  WDMによるデジタル再生機能に対応しているドライブが必要です。さらに音楽CDの作成を行うためには、CD-R/RWドライブが必要です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

目次
メニュー
索引

索引

あ行

か行

さ行

た行

は行

ら行

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

A、B、C、D

E、F、G、H

I、J、K、L

M、N、O、P

Q、R、S、T

U、V、W、X、Y、Z

目次
メニュー
索引

お問合せ窓口のご案内

本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ**
  (http://www.sony.co.jp/support-pa/)
  デジタルミュージックプレーヤーに関する最新サポート情報や、よくあるお問合せとその回答をご案内しています。

- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ（下記電話・FAX番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは［オーディオ］－［ウォークマン］です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

    ◆ セット本体に関するご質問時：
    - 型名：NW-A605/A607/A608
    - 製造（シリアル）番号：本体裏面のラベルに記載
      設定メニューの「Advanced Menu」–「Information」でも製造（シリアル）番号をご確認いただけます。
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

    ◆ 付属のソフトウェアに関連するご質問時：
    質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35	● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/　　お客様ご相談センター ● ナビダイヤル 0570-00-3311（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます） ● 携帯電話・PHS　03-5448-3311（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください） ● FAX　0466-31-2595　受付時間：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00